

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 金沢市立四十万小学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中高一貫教育
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

住所 〒 921-8135
石川県金沢市四十万3丁目186丁目

E-mail : shijima-e@kanazawa-city.ed.jp

Website : <http://www.kanazawa-city.ed.jp/shijima-e>

児童生徒数：男子 235 名 女子 211 名 合計 446 名
 児童・生徒の年齢 6 歳～ 12 歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

※当報告書についてはユネスコスクールホームページに掲載するため、活動内容については、添付資料ではなく本報告書にご記入願います。

3年生 テーマ「四十万山と竹について知ろう」

竹の子農家の方の協力で、実際に四十万山の竹林の様子を観察することができた。四十万山と竹についての話を聞いたり、竹の子掘り体験をしたりすることができた。話を聞く中で竹に関心を持ち、手入れの行き届いた竹林とそうでないものとの違いなどについて熱心に観察する様子が見られた。その後、四十万山の竹や竹の子、歴史について各自が課題を持ち、疑問に思ったことなどを本でくわしく調べた。調べたことは新聞にまとめ、みんなに広めることができた。

また、自分たちの生活の中で竹の道具がどのように使われているかを調べ、竹の道具が少なくなっている現状を知った。自分たちでも竹を使った道具を作ってみたいという思いから、地域の名人を招き、竹ぽっくり、竹とんぼ、竹の花びん、起き上がりこぼし、竹スキーの作り方を習った。いつも通学路の安全を見守って下さっている方々に、竹工作作りの先生になっていただいたので、自分たちの学校生活は地域の方とも関わり合っていることに気づくことができた。

4年生 テーマ「すごいそ！金沢、大発見！」

金沢の伝統工芸と、金沢の偉人について調べた。伝統工芸は、箔押し体験や水引作りの体験活動を通して学習した。箔押し体験は金沢仏壇商工業協同組合の方に学校に来ていただき、皿に金箔を貼るやり方を教わり一緒に作った。水引作りはあわじ結びの作り方を教えていただいた。どちらも実際に体験することで、金沢の伝統工芸の素晴らしさを知るとともに、他の伝統工芸についても興味をもつきっかけとなった。

金沢の偉人については、ふるさと偉人館を見学して学習した。昔から現在まで、金沢で活躍する人たちに触れる学習を通して、努力することの素晴らしさを感じることができた。

5年生 テーマ「体験・発見！わたしたちの食文化」

田植え体験、稲の観察、稲刈り体験、脱穀・もみすり体験などの活動に取り組んだ。活動ごとに農家の方から具体的な指導を受けることができた。米づくりの体験を通して、稲を育てることの大変さやお米に対する農家の方たちの思いを知ることができた。

地域に伝わる伝統的な食文化として、ちまきと押し寿司について調べ、作り方を地域の方から教わった。ゲストティーチャーを招き、金沢の郷土料理作りに取り組んだ。地域には昔からの伝統料理が今に受け継がれているということ

や、四十万山の笹の葉を利用して押し寿司が作られていることから、地域の自然とも深いつながりがあるということを実感することができた。また、こうした伝統を守り伝えていくために、農家の方々や婦人会の方々が努力や工夫をしていることもわかり、そうした人たちの思いについても考えることができた。

6年生 テーマ「未来の金沢・未来の世界を創造しよう」

国際交流のテーマのもと、大学生とともに「世界がもし100人の村だったら」をワークショップ形式で体験した。世界にはいろいろな人がいることを知り、自分たちの国との相違点に目を向けることができた。金沢の良いところを知る学習では、ボランティアガイドのまいどさんとともに、ひがし茶屋街や長町武家屋敷などを見学した。金沢には古くから伝わる伝統的な物がたくさん伝わっていることと、それを守っていこうとする人にも目を向けることができた。

外国の子どもたちとの交流として、アートマイルプロジェクトに参加した。交流は英語を主に使い、カードを交換したり、動画を送ってもらったりした。英語を使うことで世界のいろいろな国の人たちとコミュニケーションをとれることから、英語の必要性を感じている児童も見られた。また、英語学習や異文化に興味を持つ児童もいた。

2 成果と課題

(1) 学びの連続性を意識した学習

ポートフォリオの作成として、その日学んだことや次時への課題、ふりかえりなどをできるだけ毎時間書き、ファイルにためていく取り組みを行った。ファイルを見返すことでこれまでどんな学習をしてきたのか、これから考える課題は何なのかといったことが明確になり、連続性のある学びを意識できるようになった。調べたことをまとめて終わるのではなく、これからの問題についてゲストティーチャーに質問したり、これから自分ができることを考えたりすることにもつながった。

各学年の総合的な学習を通して、自分たちが住む金沢をいろいろな視点から見つめることとなり、ふるさとの地域・金沢のことを好きになるきっかけとしていきたい。

(2) 学びの発信

総合的な学習の時間で学習し、得たことについて学習発表会を開いて発信している。地域や保護者にも参加を呼びかけ、成果を発信することができた。さらに親子参加型学習を取り入れ、親子で共に学ぶ機会を設け、交流することができた。

他にも、総合的な学習の商業として異学年間での交流を計画した。次年度は各学年の意識が高まるような効果的な活動となるように、交流の時期を考えて計画・実施していきたい。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）